

2025年3月期 決算の概要

1. 経営成績

- (1) 前期において『新中期経営計画2025』に沿って高吸水性樹脂事業(以下、SAP事業)及び中国における生産事業からの撤退を決定しました。当期では、その決定に従って、三大雅精細化学品(南通)有限公司の持分譲渡を完了しSAP事業から完全撤退するなど高付加価値事業への転換を図る事業ポートフォリオ改革は着実に進捗しております。また、『ものづくり大改革』として取り組んでいる「サプライチェーン全体にわたるコスト削減および運転資本の圧縮」についても、目標(中期経営計画3ヵ年における増分営業利益30億円、運転資本圧縮50億円)を上回るペースで進捗しております。
- (2) 連結売上高は、SAP事業からの撤退の影響などにより、前期比172.5億円減(同10.8%減)の1,422.5億円となりました。
- (3) 利益面では、中国における基礎化学品の増産による安価製品流入によりウレタン事業は低調となりましたが、先端半導体分野の好調に加え、高付加価値製品の拡販や構造改革による収益性改善などにより、連結営業利益は前期比35.5億円増(同72.7%増)の84.3億円となりました。連結経常利益は前期比14.8億円増(同18.1%増)の96.7億円、親会社株主に帰属する当期純利益は出資金評価損や事業構造改革費用を計上したことにより41.5億円(前期は事業構造改革費用120.6億円の計上などにより85.0億円の損失)となりました。
- (4) なお、上記事業構造改革に関する損失は、前期から複数年度にわたり総額200億円を見込んでおりましたが、前期に約120億円、当期は三大雅精細化学品(南通)有限公司の減損損失を含め約12億円(当初見込みでは約40億円)を計上した結果、現時点では、総額170億円以内に収まる見通しであります。

(単位：億円)

	連 結			
	’24年3月期	’25年3月期	前期比	
			増減	伸び率(%)
売 上 高	1,595.1	1,422.5	△172.5	△10.8
営 業 利 益	48.8	84.3	35.5	72.7
営 業 利 益 率 (%)	3.1	5.9	2.8	91.5
経 常 利 益	81.8	96.7	14.8	18.1
親会社株主に帰属する当期純利益	△85.0	41.5	126.5	—
R O E (%)	△6.0	3.0	9.0	—
R O I C (%)	2.4	4.8	2.4	103.1

2. セグメント別連結売上高

(単位：億円)

	’24年3月期		’25年3月期		前期比	
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	増減	伸び率(%)
生活・健康産業関連	458.9	28.8	306.8	21.6	△152.1	△33.2
石油・輸送機産業関連	504.7	31.6	492.3	34.5	△12.4	△2.5
プラスチック・繊維産業関連	252.3	15.8	268.3	18.9	16.0	6.4
情報・電気電子産業関連	228.7	14.3	209.1	14.7	△19.5	△8.6
環境・住設産業関連他	150.3	9.5	145.9	10.3	△4.3	△2.9
合 計	1,595.1	100.0	1,422.5	100.0	△172.5	△10.8

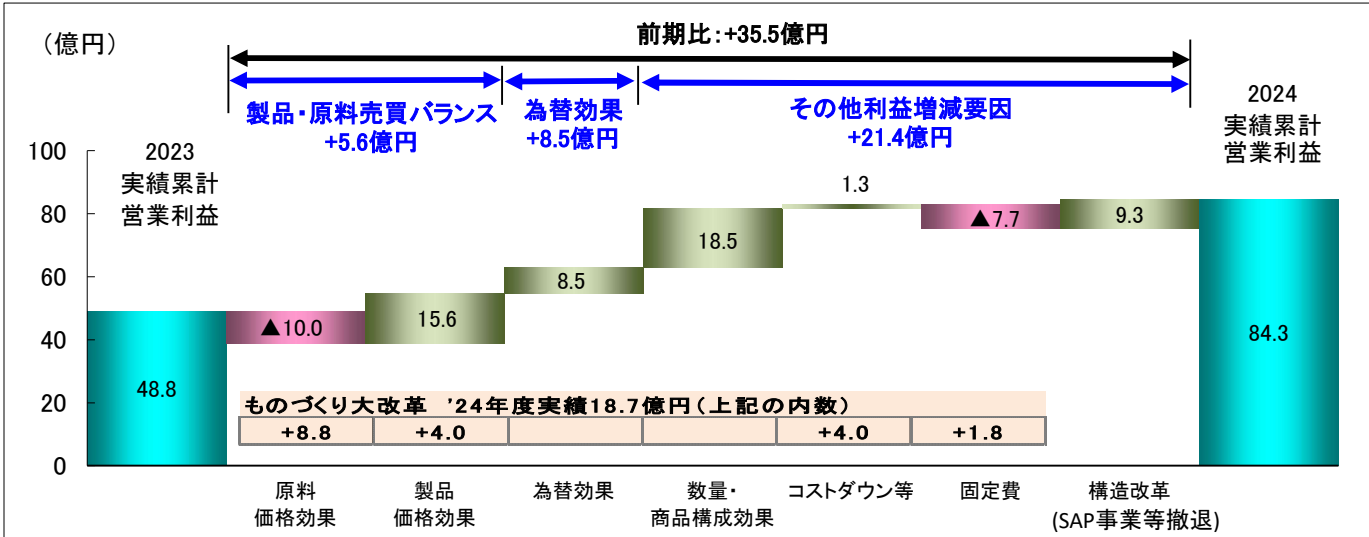
3. セグメント別連結営業利益

(単位：億円)

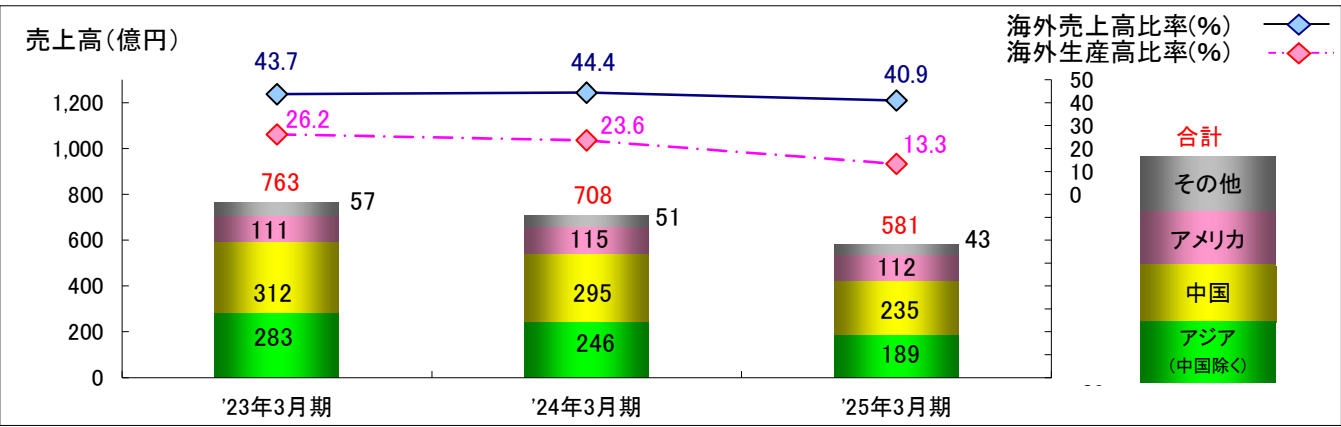
	’24年3月期	’25年3月期	前期比	
			増減	伸び率(%)
生活・健康産業関連	△14.2	1.7	15.9	—
石油・輸送機産業関連	28.1	39.7	11.6	41.2
プラスチック・繊維産業関連	23.6	28.6	4.9	21.1
情報・電気電子産業関連	18.3	25.3	7.0	38.3
環境・住設産業関連他	5.3	0.0	△5.3	△99.2
全 社 費 用 (※)	△12.5	△11.2	1.2	—
合 計	48.8	84.3	35.5	72.7

※全社費用は、各報告セグメントに帰属しない新規事業に係る研究開発費です。

4. 連結営業利益の増減分析（前期比）



5. 連結海外売上高の推移



6. 配当の状況

2025年3月期の期末配当につきましては、1株当たり85円（年間170円）とする予定であります。

次期の中間配当ならびに期末配当につきましては、1株当たりそれぞれ85円（年間170円）を予定しております。

	1株当たり配当金(円)			配当性向(連結)
	中間	期末	年間	
2022年3月期	85.0	85.0	170.0	56.0%
2023年3月期	85.0	85.0	170.0	66.0%
2024年3月期	85.0	85.0	170.0	-
2025年3月期	85.0	85.0	170.0	90.5%
2026年3月期(予想)	85.0	85.0	170.0	47.0%

7. 2026年3月期業績予想（連結）

2026年3月期の連結業績については、事業構造改革に伴う増益ならびに高付加価値製品の拡販等により連結売上高1,300億円、営業利益100億円、経常利益110億円、親会社株主に帰属する当期純利益80億円を予想しております。

	'26年3月期	前期比	
		増減	伸び率(%)
売上高	1,300	△122	△8.6
営業利益	100	15	18.5
営業利益率(%)	7.7%	1.8ポイント	30.5
経常利益	110	13	13.8
親会社株主に帰属する当期純利益	80	38	92.7
ROE(%)	5.8%	2.8ポイント	93.3
ROIC(%)	5.6%	0.8ポイント	16.7

<業績予想の前提条件>

為替レート: 140円/\$、国産ナフサ価格: 65千円/KL

8. 主な設備投資と減価償却費

(1) 設備投資額（検収ベース）、減価償却費の推移 (単位：億円)

	連 結	
	'25年3月期	'26年3月期 (予定)
設備投資額	6 6	8 7
減価償却費	9 5	8 7

(2) 主な設備投資（検収ベース）

(単位：億円)

投資アイテム		稼働時期	総投資額	'25年 3月期	'26年 3月期	'27年 3月期 以降
三洋化成工業 株式会社	微生物発酵・精製設備	2025年10月	4	-	4	-